

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	スタッフひとり一人の力量やモチベーションが異なるため、個々のスタッフの育成が必要でる。入職間もない、または介護歴があっても、知識が乏しい職員がいる。	職員の知識、介護技術の向上を目指す。管理者、リーダーが外部研修を受講し、評価基準を統一し、ひとり一人のできていること、できていないことを把握する。	管理者、リーダーは外部研修を今年中に受講し、統一した評価基準でスタッフの評価を行う。また、法人全体で「介護の知識50」をテキストとして各自に配布し、それと連動して毎月、テストを実施し、知識と技術の向上を図る。また、随時、個人面談も実施し、チームケア、人間関係の構築に努めている。	12ヶ月
2	6 7	身体拘束廃止や虐待防止についてを理解し、防止に努める。	知識不足から本人が気づいてない不適切なケアがおこなわれなないか、常にケアを見直し、より良いケアを目指していく。	毎年、繰り返し虐待の勉強会を行うと共に、各スタッフにテストを実施し、理解度を深める。こまめにユニットカンファを行いケアの見直しを実施している。毎月の全体カンファ等で意見を集約し、不適切なケアが行われていないか見直している。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。